

### 経営課題

- ❖ 決算早期化により、早期に業績予想を開示することが必須となっている。
- ❖ 予算管理における編成期間の短縮、予測数値の精度向上が不可欠な状況。

### 予算業務の課題

- 予算編成業務に多くの時間
  - 予算編成作業の属人化
  - 実績データとの連携工数増加
  - Excel管理の限界
    - フォーマット整備の工数増加
    - 集計作業に膨大な時間を要する
    - バージョン管理の煩雑さ



### Hyperion Planning 選定理由

- 短時間で高度な予算管理システムが構築可能
- 予算業務の課題を全て解決できる
- 設計やパラメータのメンテナンス性が容易



### Hyperion Planningによる課題解決

- 予算編成作業(プロセス)の標準化
- 基幹システムから実績データを自動取込み
- Webフォームにより、入力画面のメンテナンス工数削減
- DBによる、データや計算機能の一元管理
  - 自動集計・配賦計算などの機能や、複数バージョンデータを一元管理



### Hyperion Planning導入のねらい



- 経理部が主体として収集・集約する予算編成業務をHyperion Planningで遂行可能とし、本システムにて予実対比が可能となる予算管理システムを実現する。
- この予算管理システムは、今後展開する部門別予算策定業務との連携、各種可視化する予算関連レポートを作成する基盤にする。

### Hyperion Planning 導入状況

- |            |                                  |
|------------|----------------------------------|
| ● 拠点       | 本社経理部                            |
| ● ユーザ数     | 50                               |
| ● プロジェクト期間 | 約5ヶ月間                            |
| ● 導入業務     | 単年度予算業務システム化<br>基幹システムとの実績データ連携等 |

### プロジェクト成功のポイント

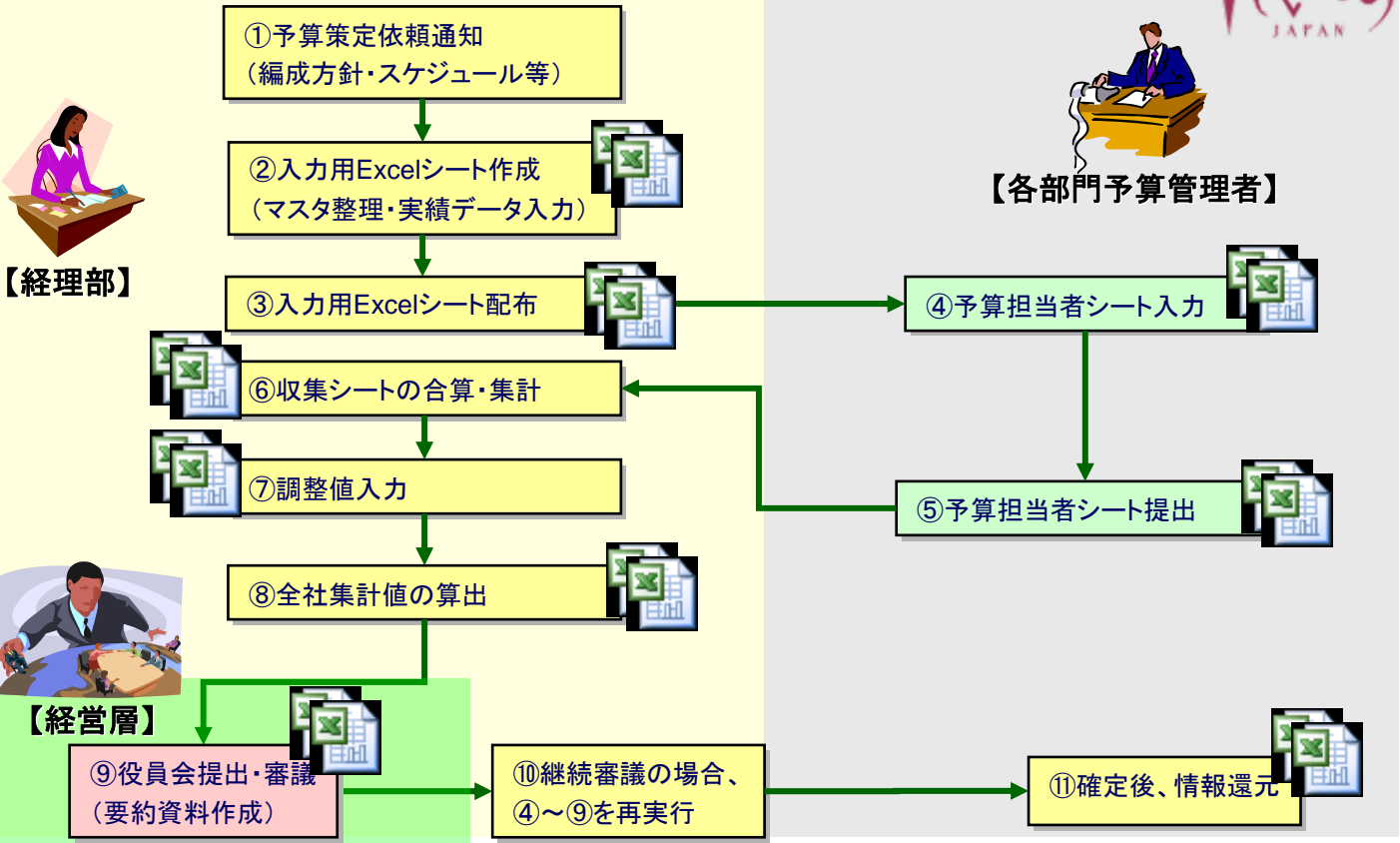


- 当初のシステム化範囲を絞り込み、標準機能で実現。
  - スモールスタート & 2フェーズアプローチ
    - フェーズ1 : 既存予算業務をPlanningへ乗せ換え
    - フェーズ2 : 予算管理のPlanning化を全社レベルに展開

### Hyperion Planningの導入効果

- ➡ データの一元管理による予算業務全般の効率UP!
- ➡ 予算管理サイクルの大幅短縮!
- ➡ 実績自動取込みにより、予実比較、差異分析が即日可能に!
- ➡ ローリング予算を実行し、予測数値の精度が向上!
- ➡ 配賦計算(外付けのオプション機能)により、複雑な配賦基準のメンテナンスが可能に!

# 旧業務フロー (HyperionPlanning導入前)



# 新業務フロー (HyperionPlanning導入後)

